

地域自主組織 『きばらいや上中山』

暑さにも「コロナにも負けない…」
「学びの里甲川」は元気いっぱい!!

きばらいや上中山では8月3日、『第3回 English Day Camp in (イ)ングリッシュデイキャンプイン) 学びの里甲川』を行いました。これは、町内の小学生が学校のALT(外国語指導助手)と一緒にいろいろな活動を行うことで、自然とネイティブの英語に触れられることを目的に行っています。

今年も、新型コロナウイルスの感染防止に注意を払いながら、6名のALTと、アート活動やスイカ割り、バーベキュー、プールなどで夏休みの一日を楽しみました。

当日は参加児童のなかに、誕生



▲皆でアイデアを出し合ってチームフラッグを作ろう!



▲「Happy Birthday!」皆の歌とケーキでお祝い

日を迎えたばかりの子どもがいたので、スタッフ手作りの誕生日ケーキとALTのキエン先生のギター伴奏に合わせて、皆で『Happy Birthday (ハッピーバースデー)』を歌い、誕生日を祝うサプライズの演出も行いました。

なおこの日は、『生徒の守り隊』として活動する、鳥取県内の大学生ボランティアの皆さんとの交流も予定していましたが、こちらは残念ながらコロナの影響により中止せざるを得ませんでした。

また、本イベントは今回で3回目となりますが、初回から参加してく

れている中山小学校の6年生が、初めて参加する子どもや他校児童も積極的に楽しめるように、リーダーシップを発揮してくれている姿を見て、頼もしさを感じました。

また、秋以降に予定していた『甲川まつり』や『蟻の大山まいり』秋の大山路編』などの、地域の皆さんが毎年楽しみにしている事業のほとんどを、コロナの感染を防ぐ観点から中止しました。今後は、三密にならない小規模な催しについて、その都度状況をみながら決定していきます。

その他にもきばらいや上中山は、コロナ禍で通常の活動がままならない中、大山町内の地域自主組織が合同で企画した、大山町出身の学生を応援する『だいせん玉手箱』事業に参加しました。県内外で不自由な生



▶上中山地区の学生へ手書きメッセージを

活を余儀なくされている大学生や専門学校生の皆さんを少しでも元気づけたらいいという思いから、皆さん一人ひとりに手作りのメッセージカードを作成しました。上中山地区出身の学生の皆さんが卒園された、旧上山保育所(学びの里甲川)から見える大山の姿、二十世紀梨や赤トンボなどの懐かしいふるさとの風景を水彩や色鉛筆で描き、一枚一枚手書きのメッセージを添えました。大山町の中でも特に高齢化率の高い上中山地区ですが、きばらいや上中山の様々な活動の中で大きな力となっているのが、高齢者の皆さんです。高齢者の方が中心となって構成される『ゴンドラの唄の会』は、メンバーの平均年齢はなんと84歳です。皆さん元気に声を出し、昔を懐かしんで歌ったり、昔話で笑い合い、楽しい時間を過ごされています。このほか、高齢者の皆様には甲川まつりや文化祭の展示物の作成の際にも、率先して力を発揮していただいています。地域の活性化の大きな要件の一つは、高齢者の皆さんが元気で笑顔があることではないかと考えています。

◆問い合わせ先 きばらいや上中山

☎0858・58・4888

(火・木・土の午後)